

## 気流 U-25

読売新聞 平成31年(2019年)1月15日(火)

### 福島離れても美しい景色心に

大学生 小林華奈江 20

(京都府宇治市)

私には、故郷の福島県に大切な思い出の場所がある。須賀川市を流れる釈迦堂川だ。震災があり、家族で福島を離れて8年目になるけれど、今でもあの川を思い出すと、心がぽつと温まる。

四季ごとに美しい風景を見せてくれる釈迦堂川。亡き祖母と毎週、この川を訪れるのが楽しみだった。

春は川の兩岸にどこまでも続く桜並木が、5月には川の上を泳ぐこいのぼりの群れが迎えてくれた。私たちがその景色を眺めて絵を描いた。夏は川沿いに色とりどりの花が咲き、秋は並木が鮮やかに紅葉する。そして冬には、雪のように真っ白な白鳥たちが舞う。

祖母と私はここに来ると笑顔になり、「私たちの大切な場所だね」と話した。今は行きたくても行けないけれど、心温まる釈迦堂川が、多くの人々に知ってもらえますように。

※無断転載不可